

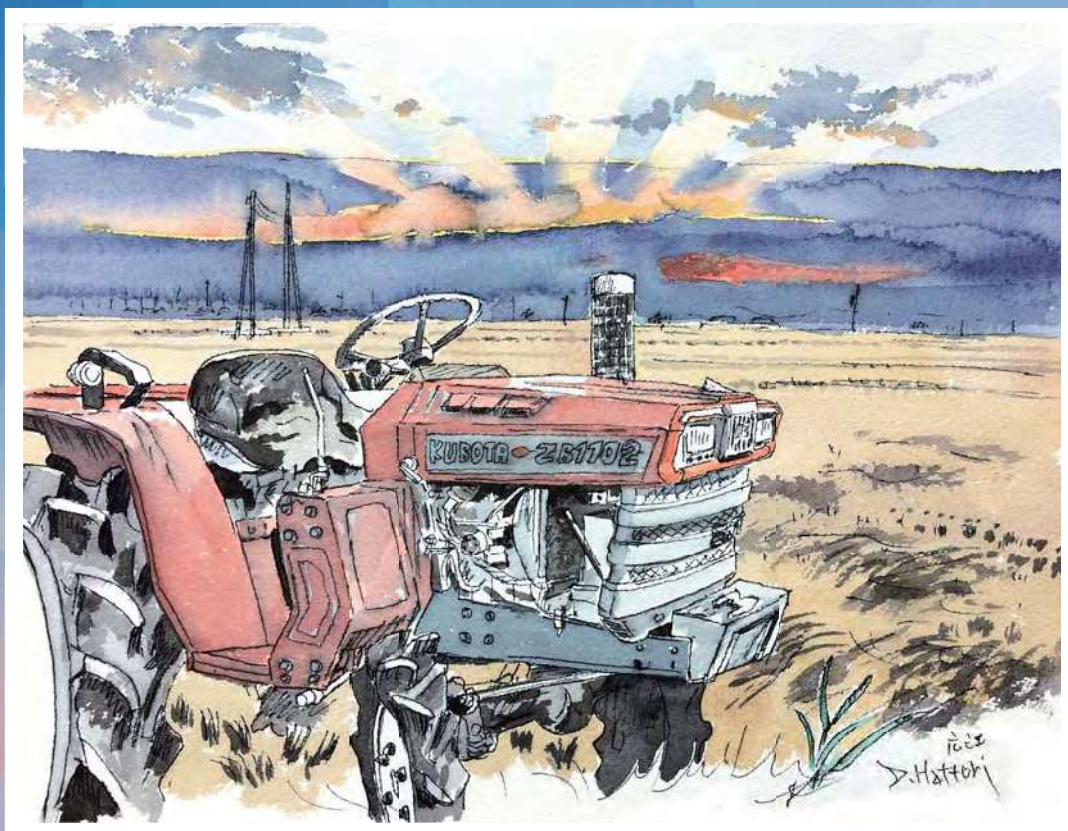
2017 - 2018 年度 国際ロータリー第 2740 地区

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740 ガバナー月信



ロータリー：変化をもたらす
～ ROTARY : MAKING A DIFFERENCE ~



服部大次郎 「稲刈りの夕暮れ」

Rotary



Vol.3

September
2017

9

2017-2018 年度ガバナー 駒井 英基

佐賀城下まち歩き



佐賀城南堀(写真・文 / 富田 紘次)

佐賀城南堀(佐賀市城内)

佐賀藩主鍋島家の居城・佐賀城。

平野に立地する典型的な平城で、四方を広大な水堀で囲まれていた。江戸時代には「四十間堀」と呼ばれていたが、本丸付近では50間を超え、100m近い堀幅を誇った。堀端は散策路として整備されており、現地に立つと、広やかな水面と抜けるような空に思わず深呼吸したくなる。

もくじ

CONTENTS

■ ガバナー挨拶	2
■ ガバナー補佐リレー随想	3
■ ガバナーノミニー決定宣言	4
■ ガバナー公式訪問クラブ報告	5
■ スリランカの洪水被災支援および九州北部集中豪雨被害義援金への御礼	9
■ コーディネーターNEWS	10
■ 文庫通信	11
■ 地区大会のご案内	12

ガバナー挨拶

国際ロータリー第2740地区
2017-2018年度 ガバナー

駒井 英基



新年度の開始に伴って思う事

例年通り、今年も7月11日鹿島RC様からガバナー訪問が始まりました。

当地区の恒例となっているのですが、ガバナー訪問に先立って祐徳稲荷神社さんへの安全祈願のお祓いを受けてからスタートすることになっております。

毎年鹿島RC様には、大変良くしていただいております、ここで153段の階段を上り、壮麗な神殿にて清祓をしていただき、当地区2,250名の会員の皆様のご活躍と各クラブの益々のご繁栄を祈りつつ、自らの心を清めてから、地区内の訪問スタートを切ることになりました。先輩ガバナー様方から、特に体に気を付けて取り組んでくださいと言われておりましたことを改めて、思いだし、訪問スケジュール表を改めて見直しつつ、一年で一番暑い時期に、両県内57クラブを訪問するのですから、なるほどと思いつつ、「鹿島立ち」の意味を重くかみしめながら、気を引き締めて参らなければと、決意を新にさせていただきました。

ガバナー訪問は、鹿島RC様に続き、佐世保RC様、長崎RC様、唐津RC様、伊万里RC様、佐賀RC様、諫早RC様、地区内唯一の土曜日例会である雲仙RC様、そして佐賀西RC様、長崎南RC様、平戸RC様、松浦RC様、インターアクト年次大会に参加し、7月末に佐世保北RC様の訪問と年次大会などの事業が目白押しでした。

私の年度では、今年3月に2016年度規定審議委員会決議を盛り込んだ新しい手続き要覧が、配布されていますので、其れに従い各クラブ様方も、標準定款を新しいものにと取り換えていただくことと、常設委員会の配置が今までと異なっておりますので、それに準じた委員会構成にしていただけるように、御願ひすることになります。ただ、クラブ管理運営のみが聞きなれない委員会ですが、これは従来のクラブ奉仕委員会に新会員の教育を加えた機能を有する委員会と認識して頂ければ、その他の委員会は既に各クラブに既に機能しておられる委員会であると思われるので、混乱は少ないのではないかと考えております。8月6日のクラブ奉仕戦略セミナーにて詳しく各部門から説明があると思いますので、御協力宜しくお願ひ致します。

ガバナー補佐リレー随想

第2グループ ガバナー補佐

山口 誠二

(佐賀北RC)



初秋とはいえ、残暑が残るような季節になっています。地球温暖化の環境になっていますね。地球は人類だけのものではなく、アンコの薄皮みたいなうすっぺらな大気圏はすべての生物の共有物です。みんなで大切に使いましょう。

さて、駒井ガバナーの助走段階の研修が今年になって始まり、準備を整え本番の新年度が始まりました。私の担当である第2グループの皆様にもご挨拶させていただき、ただいま序盤のクラブ協議会回りの段階です。

今回佐賀北ロータリークラブの先輩が会社に来られてガバナー補佐の要請を受けました。状況が私に「ガバナー補佐をやりなさい」また「ロータリーを深く知る機会を与えたよ」と指示しました。またチャンスを与えていただき感謝します。

各クラブには知り合いがいて日頃の活動は雑談の中でお聞きはしていたものの公式にお伺いする機会を得て大変感謝しております。各クラブさん地域に根差した奉仕活動をされていますね。継続事業だけでなく、今年度新しい奉仕活動を検証出来たらと楽しみにしています。

イアン・ライズリーRI会長も次世代のために知識豊富なリーダーを育成し続ける必要があるとも言われていて、私たちロータリアンは元気なクラブにするため会員増強と若いリーダーを育てていかなければいけません。私も入会したての時は不安だらけでした。新入会員さんが入会され不安な時はみんなで声掛けしていきましょう。サポート体制も検証させていただきながら地区からのご支援も伝えればと思っています。

また今年度のRIのテーマ「ロータリー：変化をもたらす」ということで「私たちロータリアンが変化して行くこと」が、地域・地区・世界を変えていくことだと述べられています。駒井ガバナーも挨拶の中で言われていますが、「人道的な奉仕活動はいつの時代にも普遍的な価値がある」ということを、いつも唱和している「奉仕の理想」ロータリーに入ってから今までみんなと歌ってきていましたが、今回ガバナー補佐になりロータリーの目的を読み返すごとにこの「奉仕の理想」の重みを感じる今日この頃です。

他クラブのロータリアンと話す機会があり、「ロータリーと他の奉仕団体との違いは」が議題になり、結論としてロータリーの目的第2項、職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ事後とはすべて価値あるものとして認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔にすることという「職業奉仕」に達しました。

今回ガバナーアシスタントとして、各担当クラブにお邪魔して、時間の取れる限り一緒に奉仕活動させていただき、各クラブさんの中から検証お手伝いをさせていただきたいと思えます。第2グループの皆さんよろしくお願い申し上げます。



ガバナーノミニー決定宣言



2019～2020年度ガバナー候補者の推薦について、2016年12月ガバナー月信 (Vol.6) にて地区内クラブ会長宛に募集が通知されましたが、期限内に推薦の申し出はありませんでした。

従いまして、国際ロータリー細則第14条第2節「ガバナー指名手続」の定めにより、2017年7月7日のガバナー指名委員会に於いて指名されました千葉憲哉君 (諫早北RC) が、2019～2020年度ガバナーに就任するガバナーノミニーに選出されたことを決定宣言いたします。

2017年8月1日
国際ロータリー第2740地区
ガバナー 駒井英基

千葉 憲哉 (ちば けんや) 君のプロフィール

生年月日	1946年11月30日
住所	長崎県諫早市貝津町
役職	医療法人祥仁会 理事長 社会福祉法人祥仁会 理事長
経歴	1976年 長崎大学医学部専門課程卒業 1977年 長崎大学第二外科教室入局 1988年 救急 西諫早病院 院長 1990年 医療法人祥仁会 理事長 1999年 社会福祉法人祥仁会 理事長 2003～13年 長崎大学医学部臨床教授 2011年～ 九州経済連合会 会員 2012年～ 地方独立行政法人長崎市立病院機構 理事
ロータリー歴	1990年 諫早北ロータリークラブ入会 2014-15年 諫早北ロータリークラブ会長 1991年 米山功労者 1997年 ポール・ハリス・フェロー 1999年 マルチプル・ポール・ハリス・フェロー 2014年 米山功労者 (4回目) 2016-17年 RI2740地区 第8グループガバナー補佐 2016年10月 マルチプル・ポール・ハリス・フェロー認証 (4回目)
学位他	医学博士号取得 アメリカ外科学会正会員 F.A.C.S 日本外科学会指導医・専門医 日本消化器外科学会指導医・専門医 日本核医学学会PET核医学臨床認定医 日本大腸肛門病学会 指導医・専門医 国際臓器病学会正会員

ガバナー公式訪問クラブ報告

鹿島RC 7月11日(火)

会長 織田 喜六 幹事 山下 義則

恒例による鹿島立ち。祐徳稲荷神社に駒井ガバナー、笠地区幹事、花島ガバナー補佐他2名のお客様をお迎えし、神前にて2740地区の繁栄と駒井ガバナーを始め会員の健勝と、この1年各人が重責を全うできますよう祈願いたしました。

その後、懇談会にて活動計画の説明と意見交換を行いました。当クラブの質問として、「次年度以降の組織作り（CLPに向けて）」、「交換留学生の派遣受け入れ」、「ローターアクトの育成、助成（地区からの補助）」、「クラブフォーラム開催の考え方」等を取りあげ、これに対し助言指導を頂きました。

その後、公式訪問例会にて駒井ガバナーより地区運営方針を簡潔に分かりやすく説明

をして頂き、新しい時代の流れを感じながら不易流行を心に留め「変化をもたらす」を実行していきます。



佐世保RC 7月12日(水)

会長 富永 雅弘 幹事 坂元 崇

2017年7月12日(水) 佐世保ロータリークラブ第3267回、本年度第2回目の例会は、国際ロータリー第2740地区駒井英基ガバナー、第5グループ岩崎邦臣ガバナー補佐、笠 慶宣地区幹事をお迎えしての公式訪問例会を開催いたしました。

当日は、例会に先立ち11:30より懇談会を開き、当クラブの現況の説明を行い、活動計画、佐世保8ロータリーの事業に対して、ご意見やアドバイスを頂きました。また、CLPに沿った当クラブの組織図表に対して、お褒めのお言葉を頂きました。

引き続き例会では、RIテーマ「ロータリー：変化をもたらす」、地区運営方針「地域社会にも変革を!」を含むRIテーマに対する地区運営の考え方をお話し頂きました。特に、RIの定款、細則の変更に伴い、各クラブの戸惑いに対してガバナーとしてのお考えを述べられ又、ロータリーの公共イメージと認知度の向上を目指していくことの重要

性を説明して頂きました。

ガバナー公式訪問例会は和やかな中にも緊張感のある佐世保クラブらしい例会が開催できました。駒井英基ガバナー、第5グループ岩崎邦臣ガバナー補佐、笠 慶宣地区幹事には、今後ともご指導頂きながら、ますますのご活躍をお祈り申し上げます。



長崎RC 7月13日(木)

会長 前原 晃昭 幹事 坂本 卓也

平成29年7月13日(木)、駒井英基第2740地区ガバナー、中村重敏第9グループガバナー補佐、鐘ヶ江輝昭地区副幹事、成清啓二事務局長をお迎えして、ガバナー公式訪問例会を開催いたしました。

当日は例会前に、前原晃昭会長、川原強会長エレクトに幹事・副幹事を交えて懇談会が行われ、当クラブの概況報告やクラブ運営方針の説明をさせて頂きました。

駒井英基ガバナーより、昨年のRI規定審議委員会での規約改訂への対応や、地域社会に認知されるロータリーを目指しての活動・広報の重要性について、ご教示頂きました。

その後例会では、駒井英基ガバナーによる卓話を行って頂き、RIテーマとイアン・ライズリーRI会長のメッセージ「ロータリー:変化をもたらす」をわかりやすくご説明頂き、地区運営方針である「地域社会にも変革を!」の方針と共に、変革の方向性が良く理解出来ました。

当クラブも時代の変化に対応するために、クラブ創立80年を超える歴史と伝統を大切にしながらも、果敢に変革に取り組んで参りたいと思います。

駒井英基ガバナー、中村重敏ガバナー補佐、鐘ヶ江輝昭地区副幹事、成清啓二事務局長には、この度のご来訪に感謝申し上げますと共に、一年間のご活躍、ご健勝をお祈り申し上げます。



伊万里RC 7月19日(水)

会長 松本 壽雄 幹事 小山 晃

駒井英基ガバナー、笠慶宣地区幹事、白川十郎第4グループガバナー補佐(当伊万里クラブ)をお迎えして、ガバナー公式訪問例会を開催しました。

例会に先立ちまして当クラブの会長、幹事、会長エレクトの3人が参加して懇談会が行われました。

当クラブの最大の目標は現在28名の会員を最低30名に、又それ以上の会員増強を図ることを話し合いました。駒井ガバナーは当クラブが継続して行っている、第11回伊万里観光いろはかるた大会、第52回青少年伊万里有田剣道大会等を通して職業奉仕にて地域社会に貢献しつつ新聞や市の広報などで活動を多くの人に知ってもらうことがロータリーのテーマ「ロータリーとは何ですか」との問いに『ロータリー:変化をもたらす』で地域社会に知ってもらえば会員増強にも繋がるのではないかとのことでした。

例会では本年度の方向性や地区の方針、クラブとしての取り組みをわかりやすく講演していただきました。

最後に駒井英基ガバナー、白川十郎ガバナー補佐、笠慶宣地区幹事のご健勝とご活躍を御祈念し、今後ともご指導をよろしくお願い致します。



ガバナー公式訪問クラブ報告

佐賀RC 7月20日(木)

会長 副島真一郎 幹事 古賀 浩之

平成29年7月20日に駒井英基ガバナー、八頭司博ガバナー補佐、笠慶宣地区幹事をお迎えして、ガバナー公式訪問例会を開催致しました。

例会に先立ち、岸川会長エレクト、古賀幹事とともに懇談会を開催、ガバナーより、RIからの要望事項等をお伝え頂きました。

当クラブ概要については、事前に現況と活動計画書をきちんと読まれ、御理解をして頂いたために、特段の説明をすることもありませんでした。

尚、青少年健全育成のために選抜した高校生へ給付している公益信託佐賀ロータリークラブ奨学基金については、今後も続けて、又広報するように適切な御指導を頂きました。

その後、例会では、駒井ガバナーがプロジェクターを使って、今年度のRIよりのメッセージ、地区運営方針等について、非常にわかりやすく、時にはウィットも含めて、具体的な説明をして頂い

たため、大変有意義な時間を過ごす事ができました。

駒井ガバナーはじめ地区幹事の皆様方御苦勞様でした。

今後の御健勝と御活躍を祈念しております。



雲仙RC 7月22日(土)

会長 金子壽重子 幹事 福田 宵晃

国際ロータリー2740地区 駒井ガバナー・吉田ガバナー補佐・笠地区幹事をお迎えしてのガバナー公式訪問と例会を開催いたしました。

例会に先立ち、当クラブ会長・幹事・会長エレクトとの懇談会を行いました。

雲仙クラブの概要及び運営方針の説明会を行った後、駒井ガバナーより次のような講評を頂いたところです。

- ①定款や細則が整備されている事。
- ②クラブ活動報告及び計画書において、冒頭にロータリーの目的及び四つのテストが、掲げられていることについて高い評価を頂いたところです。

駒井ガバナーの卓話では、ロータリーの在り方も時代とともに変化して行く、そうした流れにあって、変化に対応出来る体制づくりが求められてくることは必置である。

ITやメディアの活用によってクラブの特徴や活動を広くアピールするとともに個々の研鑽や親睦を深めるとともに、限りなく、奉仕の理想を追求

していくことが求められる。と力説されました。

大変充実した時間でありました。

数々のご教示を頂き、厚く御礼申し上げます。

また、ご同行頂きました、佐賀南クラブの江副了君より会長エレクトとして、11月に開催される地区大会のご案内を頂きました。

駒井ガバナー始めご出席頂きました皆様方のご健勝を祈念申し上げ、公式訪問の報告と致します。



長崎南RC 7月26日(水)

会長 山田 晃 幹事 瀬戸 信二

さる7月26日、駒井英基ガバナー、第10グループ山口善生ガバナー補佐、笠慶宣地区幹事をお迎えし、公式訪問例会を行いました。例会に先立ち、山田会長、杉田会長エレクト、瀬戸幹事とともに懇談会を行い、当クラブの概況、当年度方針説明、質疑応答など意見の交換を行い、熱心な意見交換は当初30分の予定を超えて、例会開始直前まで続きました。

例会においては、本年度RI方針などについての説明がなされ、「ロータリー：変化をもたらす」について、決してRIは大幅な改革を考えているわけではなく、今まで通りにロータリー活動を行ってほしいとのことでした。また、当クラブ例会場入り口に掲示している「入りて学び、出でて奉仕せよ」にも触れていただき、職業奉仕の大切さをお

話いただき公式訪問例会を無事に終えることができました。

駒井ガバナーをはじめとした皆様の公式訪問に感謝いたしますとともに、この一年のご活躍を祈念いたします。



平戸RC 7月27日(木)

会長 加賀江順市 幹事 江田 洋一

7月27日(木) 駒井英基ガバナー、岩崎邦臣第5グループガバナー補佐、笠慶宣地区幹事をお迎えしてのガバナー公式訪問を開催いたしました。

例会前の会長、会長エレクト、幹事、次期幹事との懇談会では、当クラブの運営方針及び概要について説明させて頂きました。CLPによる委員会組織再編ではお褒めの言葉を戴き、当クラブの、平戸つつじ花壇と鄭成功廟の清掃を年3回程度行っており、クラブの活動の一つとして取材してもらうようアドバイスを頂きました。

例会では駒井ガバナーより本年度のRIの方針や地区運営方針をご説明頂き、クラブセントラル、マイロータリーの登録など、ロータリーをより理解できるよう目指したいと思います。翌日も隣の松浦RCのガバナー公式訪問が続くため、例会後は懇親会を開催し、和やかな雰囲気の中、2次

会まで盛り上がり楽しいガバナー公式訪問となりました。

駒井ガバナー、岩崎ガバナー補佐、笠地区幹事のご来訪に感謝し、今後ともご指導の程よろしくお願いいたします。暑期中、ガバナー公式訪問が続きますのでご自愛ください。



ガバナー公式訪問クラブ報告

松浦RC 7月28日(金)

会長 **角野 智志** 幹事 **中山 吉則**

7月28日(金) 駒井英基ガバナー、岩崎邦臣ガバナー補佐、笠慶宣地区幹事をお迎えして、ガバナー公式訪問例会を開催しました。例会に先立ち行われた会長幹事との懇談会では、当クラブの現況と前期の活動内容、当期及び今後の活動計画について報告しました。駒井ガバナーからは、今期の地区運営方針「地域社会にも変革を!」とはどういう意味か、CLPに対する取り組み方、クラブ運営委員会を通じた新人教育の必要性、ロータリーの活動内容をクラブセントラルに登録し、広報活動していくことの重要性等についてのご指導をいただきました。また、例会の卓話でも上記に加え、RIの戦略計画、ロータリーの目的、クラブ定款と細則の違いについてお話しいたいただき、会員一同、大変有意義な時間を過ごせたと思

います。松浦クラブは現在会員数30名(昨年比純増3名)、今年45周年を迎えます。角野会長の運営方針「人びとの人生に変革を!」を目標に、地域社会においてリーダーシップを発揮すべく元気に活動していきたいと考えております。



スリランカの洪水被災支援および九州北部集中豪雨被害義援金への御礼

福岡県朝倉地区の大水害に対する義援金として2,326,689円
スリランカ大水害に対する義援金として1,206,600円 を賜りました。
地区内各クラブの皆様方へ心より感謝申し上げます。

8月10日に、福岡県の第2700地区とスリランカ大使館の指定口座へ振込させていただきました。

特に第2700地区は地区社会奉仕委員会が中心となって被災された方々への直接の支援に当たられるとの報告と当地区の皆様方へのお礼の言葉を頂いております。

皆様方からの、温かいご支援に心より感謝いたします。

最後になりましたが、第2700地区の皆様のますますのご発展とご健勝を祈念して御礼の言葉と致します。

第2740地区ガバナー 駒井英基

Rotary

Zones 1 & 2 & 3



コーディネーター 2017年8月号

NEWS

発行: Zones 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター

■各ゾーンにはロータリーコーディネーター (RC)、ロータリー公共イメージコーディネーター (RPIC)、ロータリー財団地域コーディネーター (RRFC)、恒久基金/大口寄付アドバイザー (EMGA) の3人のコーディネーターと1人のアドバイザーが国際ロータリーから任命されています。私どもの役割は、研修者、コンサルタント、アドバイザーとして、ガバナーと地区チームの皆さまをサポートすることです。会員の入会と参加の促進、地域社会でのロータリーの推進、ロータリー財団の支援を通じて国際ロータリーの戦略計画を遂行するために、ガバナーの皆さまと地域リーダーがチームとなって協力することが重要となります。従いまして、地区セミナー、地区大会、PETS、地区研修・協議会などにおいて、それぞれの分野に関するプレゼンテーションを行うことのできる機会がありましたら、お手伝いをさせていただきます。コーディネーター、アドバイザーおよびコーディネーター補佐一同、今年度が皆さまにとって実り多い1年となることを願っております。



第1ゾーン ロータリーコーディネーター 酒井正人 (RID2510:函館五稜郭RC)

RCの主な役目は「クラブのサポートと強化」で、特に会員増強に向けた支援であります。しかし、ご承知のようにゾーンの再編が行われ、日本は2.5ゾーンに縮小されることになります。これを元に戻すためには約6千名の会員を純増しなければなりません。日本には2千強のロータリークラブがあります。5年間で各クラブが純増3名を達成できれば決して夢のような話ではないと思います。みんなで頑張りましょう。



第1ゾーン ロータリー公共イメージコーディネーター 鈴木秀憲 (RID2570:吹上RC)

公共イメージと認知度の向上のために行うべき事は、①我々ロータリアンの活動について ②世間へ発信する内容について ③世間へ発信する方法について の三つに分けられると考えます。単に広報するのではなく、「世間の方々に良いイメージでロータリーについてご理解頂く」事が大切です。この観点から、今後上記①,②,③について、皆様と共に考えたいと存じます。どうぞ宜しくお願い致します。



第2ゾーン ロータリーコーディネーター 田中正規 (RID2760:西尾RC)

昨年4月の規定審議会はロータリーの歴史上の転機と言われています。すなわちクラブの裁量が大きくなり、柔軟性が増しました。柔軟なクラブ運営(例会の形式の多様化、出席要件の緩和、異なる会員種類の提供、例会スケジュールの変更等)とクラブの強化が求められています。それには例会の充実、多くの会員のリーダーシップの発揮、ビジョンの作成、新会員の指導等があります。戦略計画に基づき、目標設定、行動計画の立案、実行が必要とされます。そのために、RIから多くのリソースが提供されています。私たちゾーンのロータリーコーディネーターも利用してください。



第2ゾーン ロータリー公共イメージコーディネーター 渡辺治夫 (RID2780:横須賀RC)

国際ロータリー第2ゾーン「ロータリー公共イメージコーディネーター」という身に余る重責に身の引き締まる思いであります。RPICの任務に初めて取り組みますが、誠心誠意務めてまいりますので皆様のお力添えを賜りたくお願い申し上げます。イアンH. S. ライズリーRI会長は、「ロータリーとは何ですか?」という問いに「自らの「行動」によって答えましょう」と述べました。そしてRIは「People of Action (世界を変える行動人)」「公共イメージキャンペーンをはじめます。このキャンペーンに則り、行動を持って「公共イメージと認知度の向上」に取り組んで参りたいと存じます。



第3ゾーン ロータリーコーディネーター 若林紀男 (RID2660:大阪東RC)

愈々新年度が始まり、ガバナーの皆様には勇躍の思いを持って任務に就かれておられると存じます。RIの会長は年ごとに替わっても常に会員基盤の強化推進を提唱されます。日本に於いても「会員増強」は喫緊の課題であり、地区・クラブでは大きなウェイトをかけて取り組み続けておられます。本年度第3ゾーンのリーダーの方々と共に、地道にクラブ活性化→会員維持・会員増強の成果をあげる為、ARCによる地区別専任担当制を用いてご協力させていただきますので、どうぞ宜しくお願い致します。

関西地区担当 高島凱夫 (D2660) 中国地区 伊藤文利 (D2690) 九州地区 穴井元昭 (D2700)



第3ゾーン ロータリー公共イメージコーディネーター 横山守雄 (D2660:大阪中央RC)

昨年度一年目はRPICとして、どのような活動が各クラブと各地区にメリットを齎すことができるのか暗中模索の状態からスタートいたしました。ゾーン内各地区の皆様と対話を重ねることによって、各クラブや地区のニーズが次第に汲み取れるようになりました。近年、ロータリーの公共イメージと認知度の向上活動、そしてRI・地区・クラブ運営のIT化が加速しております。新年度はギアアップを図り会員の皆様に少しでもお役に立てますように努力いたします。引き続き皆様のご協力を宜しくお願い申し上げます。

文庫通信 (359号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

地区大会講演より

- ◎「Rotary-かえりみて、あすを考える」 久野 薫 2017 16p (D.2630地区大会)
- ◎「ロータリアンの矜持」 藤川享胤 2017 8p (D.2590地区大会の記録)
- ◎「2020年東京オリンピックのレガシーとロータリーの多様性」 水野正人 2017 7p
(D.2590地区大会の記録)
- ◎「危機管理の人生」 安斎 隆 2017 12p (D.2530地区大会記念誌)
- ◎「2030年、そのとき日本は」 国谷裕子 2017 2p (D.2640地区大会記録誌)
- ◎「みどりの力で心の復旧・復興を」 涌井雅之 2016 11p (D.2530地区大会記念誌)
- ◎「人はどうがんと向き合うか？」 垣添忠生 2017 4p (D.2710地区大会特集号)
- ◎「青森県の短命県返上活動の現状」 中路重之 2015 7p (D.2830地区大会記録誌)
- ◎「障害者アートで社会を変える」 播磨靖夫 2016 5p (D.2640地区大会記録誌)
- ◎「フランス人から見た日本文化のあれこれ」 リシャール コラス 2017 4p
(D.2780地区大会報告書)

〔上記申込先：ロータリー文庫〕

ロータリー文庫

〒105-0011東京都港区芝公園2-6-15黒龍芝公園ビル3階
TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日

【お詫びと訂正】 月信7月号に誤記載がありました。ここに訂正し、お詫び申し上げます。

訂正：13、14 頁 ガバナー公式訪問 クラブ協議会日程表

(誤) 神埼 RC 吉野ヶ里商工会館 → (正) 神埼 RC 割烹きはら

(誤) 大村 RC 12：30～長崎インターナショナルホテル

→ (正) 大村 RC 18：30～いけす寿楽

16 頁 地区主要行事予定表

(誤) 第7・8 グループ IM 2月17日(土) → (正) 第7・8 グループ IM 3月3日(土)



2017-2018年度
国際ロータリー第2740地区



ロータリー：
変化をもたらす

地区大会

2017. 11/17(金)・18(土)



国際ロータリー会長
イアン H. S. ライズリー



ガバナー
駒井 英基



地区大会実行委員長
田中 洋介

この度、国際ロータリー第2740地区第1、第2グループより駒井英基ガバナーを選出し、コ・ホストクラブの皆様のご協力を頂き、地区大会を平成29年11月17日(金)、18日(土)に佐賀市で開催する運びとなりました。

記念講演会では、ジャーナリストの櫻井よしこ氏をお招きし、ご講演頂きます。また懇親会ではご参加の皆様によりと食事を楽しんで頂き、親睦の輪をより一層拡げて頂けるような会場づくりを考えております。

イアン H.S.ライズリー RI会長が掲げたRIテーマは、『ロータリー：変化をもたらす』です。今回の地区大会が、世界に、地域社会に、より多くの人たちに「変化をもたらす」様々な活動の一助になれば幸いです。皆様のご参加を心よりお待ちしております。



記念講演会

『これからの日本と誇りある国づくり』

日時：平成29年11月18日(土) 開場14:30～ 開演15:00～

会場：佐賀市文化会館 大ホール

講師

ジャーナリスト

公益財団法人 国家基本問題研究所 理事長

櫻井よしこ氏

経歴等

1971～74年 クリスチャンサイエンスモニター紙 東京支局勤務
1975～77年 アジア新聞財団DEPTH(デプス)NEWS記者
1978～82年 同東京支局長
1980～96年 NTVニュースキャスター
1980～現在 ジャーナリスト
2008年～現在 公益財団法人国家基本問題研究所理事長

受賞

1994年 SJ賞(女性放送者懇談会賞)受賞
1995年 第26回大宅壮一ノンフィクション賞受賞
1998年 第46回菊池寛賞受賞、2010年 第26回正論大賞受賞

著書

『一刀両断』『日本の未来』(新潮社)、
『凍る国家へ 日本よ、決意せよ』(ダイヤモンド社) 他多数

一般公開
入場無料

※一般定員350名
先着順・3F席

【櫻井よしこ公式サイト】<http://yoshiko-sakurai.jp> 【毎週金曜21時インターネットテレビ「櫻LIVE」生放送中】<http://www.genron.tv>

ホストクラブ 佐賀南ロータリークラブ

コ・ホストクラブ

佐賀ロータリークラブ/小城ロータリークラブ/牛津ロータリークラブ/多久ロータリークラブ/佐賀大和ロータリークラブ
佐賀西ロータリークラブ/佐賀北ロータリークラブ/神埼ロータリークラブ/佐賀空港ロータリークラブ



服部大次郎 「イチジク」

作品紹介

〈表紙〉暑さも残る九月。作物の収穫時期。

日本最大のイベント稲刈りの始まりです。

見渡す限り黄金色の稲田が再び平らな田んぼへと返っていきます。

一年に一度の遠い日を見るような風景ですが、後何回見られるでしょうか。

〈裏表紙〉友人にいただいたイチジクとシントウです。

国際ロータリー第 2740 地区 ガバナー事務所

〒840-0815 佐賀市天神2丁目 2-28 松尾天神ビル1103号室

TEL 0952-26-6868 FAX 0952-26-6844

HP <http://www.d2740.org/>

E-mail : ri2740sagapiece@orion.ocn.ne.jp